

平成29年度の重点目標達成に向けたテーマ及び具体的な取組（学年・分掌版）

学年・分掌名： 特別活動部記入者氏名： 嶋田 仁**本年度の重点目標**

人材育成と自己実現

すべての教育活動を通じて人材育成を図り、人格の完成と自己実現を支援する

*実践指針

すべての教育活動において「追究姿勢の育成」を念頭に置き、これを通して、先行き不透明な時代に挑戦し、自己と社会の未来を切り拓く人材（21世紀人材）の育成を図り、人格の完成と進路目標の達成を含めた自己実現を支援する。

*具体的な手立て（該当番号に○印）

- 1 多様な能力を活用する授業等を通して学力の向上を図る
- 2 各種追究活動を通して自己啓発の意欲と追究姿勢の強化を図る
- 3 深い生徒理解を基盤として自己実現を支援する
- 4 社会貢献活動等を通して地域や社会に信頼される人材の育成を図る
- ⑤ 部活動など特別活動の活性化を通して豊かな人間性を育む。
- 6 国際交流の活性化を通して情報活用力を含めた国際性の育成を図る

月	各学年・分掌のテーマ及び具体的取組の作成及び実践 Plan～Do
4 6 月	<p>(テーマ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒会・HR 活動と学校行事への積極的・自発的な参加を通して、個性の伸長、豊かな人間性、自主的・協力的な態度の育成に努める。 <p>(具体的取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒会委員会を年度当初、3年生が実質的に引退する2学期、年度を総括する3学期に開催し、活動方針・計画、反省、次年度への計画などについて話し合う機会を設け、自発的かつ改善を意識した運営を促し、より活性化を図る。
4 7 月	<p>各学年・分掌の検証方法及び具体的取組の検証（1） Check</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1回目指導主事等学校訪問での指導事項 ・管理職及び分掌主任会議による検証 ・第1回授業アンケートの結果 ・第1回学校評議員会での提言・指摘事項 <p>(検証結果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動については、多くの部・同好会が活躍し、上位大会への出場を決め、力を発揮してくれた。 ・生徒会も自主的に活動しており、全校生徒を巻き込み、様々な学校行事を成功させた。また、酷暑時の服装についての生徒の要望を受け実現させるなど、例年にはない成果もあった。 ・昨年度から全校応援となった定期戦でも、昨年度は課題と指摘されたより大きな声での応援を実現させるなど、応援委員もよく頑張ってくれた。

検証（１）から、改善のための具体的取組 Action～Do

(改善のための具体的取組)

- ・生徒会執行部が新体制に移行するのに合わせ、第２回生徒会委員会を開催し、これまでの活動について振り返り、今後に生かす機会とし、１・２年生中心の体制への移行を促す。

8
|
11
月

改善のための具体的取組の検証（２）、次年度に向けて Check～Plan

- ・学校訪問での指導事項
- ・管理職及び分掌主任会議による検証
- ・授業アンケート結果
- ・保護者アンケート結果

(検証結果)

- ・生徒会選挙の早期実施も２年目になり、生徒会執行部の移行が本校の実態に即したものになり、新執行部の活動が早まり良い効果が現れている。
- ・昨年度以上に県大会優勝、東北・全国大会への出場・活躍があり、顧問の先生方の休日返上の指導に感謝したい。また、保護者アンケートでの本校の文武両道の方針を評価する保護者の評価は有り難い。
- ・同じく保護者アンケートのクラスマッチと美入野祭の分離開催の要望に関しては、記述からは本当に生徒の希望なのか、保護者の付度なのか分かりかねるところがあるとともに、学校行事は様々な制約の中でぎりぎりの運営をしていることを理解して欲しい。また、学校祭の直前がクラスマッチの為、生徒にとっては授業時よりもより多くの準備時間が確保できるという利点があることも理解して頂きたい。多くの生徒たちは１週間近く授業から解放される、「美入野ゴールデンウィーク」として毎年楽しみにしている。
- ・練習計画の提示が遅いと指摘は、より協力したいとの保護者の気持ちの現れだと考えられるので、顧問の先生方には出来るだけ対応していただきたい。
- ・練習終了時刻、休日等に対する指摘に関しては、規定の遵守をお願いしたい。
- ・遠征費、集金等に関する記載も複数見られたが、部活動は課外活動であることを踏まえ、保護者・生徒が納得しないものに関しては参加・出場する必要はないこと、参加・出場する限りは、補助は規定通りであることを納得していただいた上でしてもらうようにして欲しい。

12
|
2
月

(次年度に向けて)

- ・部費・遠征費に関する苦情に関しては、入部希望の生徒に対し、年間どれほどの費用が掛かるのか、また必須のものとそうでないものを提示していただき、保護者に見通しを持ってもらった上で入部の是非を決めてもらうような体制を築く。
- ・様々な部・同好会が全県優勝し、活躍しているにも関わらず、全県１位がないなどというような思いこみをもたれないように、情報発信をしっかりとする。

(外部評価) 2月27日(火) 学校評議員会・学校評価委員会の評価

- ・評価は B ○
生徒の自主的・協力的な態度の育成を目的とした生徒会役員及び生徒会委員会の早期交替等、順調に機能していると考えますが、学校行事の時期についてはアンケートを実施するのも一方策と考える。部活動については保護者からも義務教育の時との相違を踏まえた要望があるようだ。顧問の努力はさることながら、今後は特別活動部として各部バラバラではなく、目線を揃えた丁寧な説明・情報提供していくこともお願いしたい。